



YSK

焼津水産化学工業株式会社

BUSINESS REPORT 2023

2023年3月期 期末報告書
2022年4月1日～2023年3月31日

「価値創造の加速」を経営ビジョンとして、
顧客課題の解決、社会課題の解決で価値創造を加速させてまいります。

代表取締役社長 山田 潤

当期の事業の概況

当社グループでは、2025年3月期までの3か年中期経営計画に基づき、「価値創造の加速」を経営ビジョンとして、(1) 安全・安心の向上、(2) 国内事業（調味料、機能性）の強化、(3) 海外展開の加速、(4) 新たな事業分野の創出の4つの基本戦略へ経営資源を投入しております。また、当社では「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、キャッシュアロケーションとして3か年を通じて人財・設備への投資：35億円、株主還元：20億円、新規事業分野への投資：5億円を実施することなどで企業価値の向上を図ってまいります。なお、当期においては、株主還元策の一環として自己株式の市場買付を行い、499,800株（株式の取得価額の総額：4億80百万円）の取得を実施するとともに、1,605,800株の自己株式の消却を実施しました。

連結売上高につきましては、機能食品の販売は減少したものの調味料及び水産物の販売が伸長したことから、128億29百万円（前年同期比7億9百万円、5.9%増）となりました。利益面につきましては、製造コスト上昇に伴う販売価格の改定や生産性改善への取り組みを行っているものの、足元の更なる原材料価格、燃料動力費の上昇に伴い採算性が悪化したほか、販売費及び一般管理費においても積極的な事業展開を見据えた人材確保に伴う人件費の増加、コロナ禍で削減していた旅費交通費の増加、先行投資としての試験研究費の増加等の影響もあり、連結営業利益は3億29百万円（同2億69百万円、45.0%減）となりました。また、連結経常利益は、3億91百万円（同2億61百万円、40.1%減）となったほか、特別利益の投資有価証券売却益が前年同期比4億71百万円減少したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益は2億68百万円（同4億88百万円、64.5%減）となりました。



配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。利益配分につきましては、時代のニーズに対応するために研究開発、生産、市場開拓等への投資を進める一方で、配当性向を勘案しつつ継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。当事業年度の期末の配当金につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、1株につき14円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当は1株につき24円となります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

配当金推移

(単位：円)



中期経営計画

当社グループは「価値創造の加速」を経営ビジョンとして2022年4月から2025年3月までの3カ年中期経営計画を策定しました。

4つの基本戦略に基づいた施策により、2025年3月期（最終年度）の連結売上高145億円、連結営業利益8.5億円、ROE5.0%以上の達成を目指します。また、「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、キャッシュアロケーションとして3カ年を通じて人財・設備への投資：35億円、株主還元：20億円、新規事業分野への投資：5億円を実施することなどで企業価値の向上を図っていきます。ビジョン達成に向け、グループ一丸となって活動していきます。

基本戦略

- (1) 安全・安心の向上：新たな価値創造に向けた品質保証体制の確立
- (2) 国内事業（調味料・機能性）の強化：特定市場の深掘りによる調味料事業分野におけるシェア拡大、マーケットインによるオリジナル素材の積極的な商品投入
- (3) 海外展開の加速：ASEANと米国に向けた積極投資
- (4) 新たな事業分野の創出：スタートアップとの協業、M&Aを活用した事業分野の拡大

(単位：百万円)

	2022年3月期 (実績)	2025年3月期 (目標)	増減
連結売上高	12,119	14,500	+2,381
連結営業利益	599	850	+251
ROE	3.9%	5.0%	+1.1pt

株主還元

株主還元策の一環として、2023年2月6日から2月24日の期間で自己株式の市場買付を行い、314,800株（株式の取得価格の総額：2億9,993万円）の取得を実施しました。また、2月28日に1,291,000株、3月17日に314,800株の自己株式の消却を実施しました。

TOPICS

第56回 日本痛風・尿酸核酸学会総会 アフタヌーンセミナーで「アンセリン」について講演を行いました。

当社は2023年2月23日～24日に開催された第56回 日本痛風・尿酸核酸学会総会にて株式会社明治とアフタヌーンセミナーを共催し、株式会社明治の尿酸値対策ヨーグルトと当社機能性素材「アンセリン」に関する講演を行いました。アンセリンはカツオ・マグロなどの魚の筋肉中に含まれ、尿酸値の上昇抑制効果が確認されている機能性成分です。尿酸値でお悩みの方の新たな選択肢として、発表を行いました。



CSR

■ 焼津市の海岸清掃を実施

本社のある焼津市で定期的に海岸の清掃活動を行っています。今期は11月に実施し、約20名の社員が参加しました。



■ 学童保育に通う子どもたちに飲料をお届け

当社では2020年から学童保育支援の取り組みを行っています。今期も本社のある焼津市小川地区の学童施設4ヶ所へ飲料をお届けしました。



■ 静岡県剣道少年団学年別選手権大会を後援

スポーツに打ち込む子供たちを応援する取り組みとして、今期初めて11月に静岡県で開催された少年団の剣道大会の後援をしました。



天然調味料の製造

調味料の受託加工

売上高構成比

51.2%

調味料

売上高 65億 70百万円 前年同期比 2.2%増 セグメント利益 4億 23百万円 前年同期比 12.6%減 

昆布・エビ調味料の販売強化や販売価格の改定に取り組み、液体調味料の販売が伸長しましたが、売上構成の変化や原材料価格の上昇等により増収減益となりました。

天然調味料

カツオエキス 昆布エキス エビエキス
カニエキス オイスターエキス etc.

機能性食品素材の製造

健康食品の通信販売

機能食品の受託加工

売上高構成比

20.7%

機能食品

売上高 26億 58百万円 前年同期比 3.3%減 セグメント利益 4億 67百万円 前年同期比 30.5%減 

健康食品の通信販売など機能食品の苦戦が続き減収となりました。また、原材料価格の上昇等により採算性が悪化し、減益となりました。

機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン フコース
マリンコラーゲン フコイダン etc.

水産物の問屋業

倉庫業

水産物の加工

売上高構成比

19.7%

水産物

売上高 25億 21百万円 前年同期比 32.0%増 セグメント利益 38百万円 前年同期比 12.7%減 

韓国・台湾・香港向けの海外販売が順調に推移し増収となりましたが、修繕工事や光熱費の増加が響き減益となりました。

その他商品

化粧品通販事業

売上高構成比

8.4%

その他

売上高 10億 78百万円 前年同期比 4.7%増 セグメント利益 24百万円 前年同期比 27.0%減 

その他商品の販売が増加しましたが、売上構成の変化や一般管理費の増加により増収減益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用（624百万円）控除前のものです。

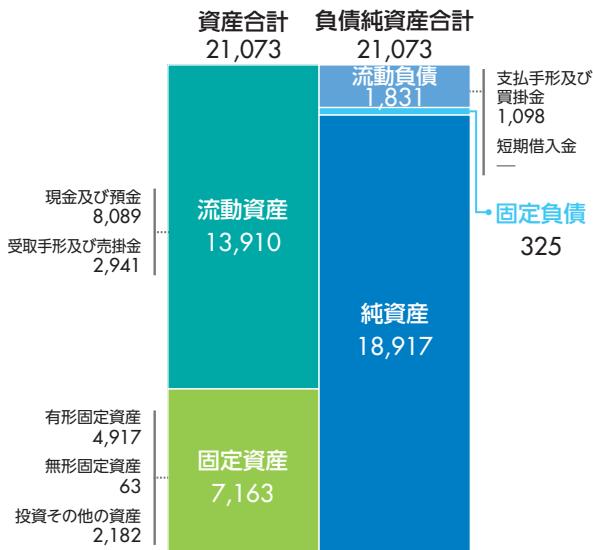
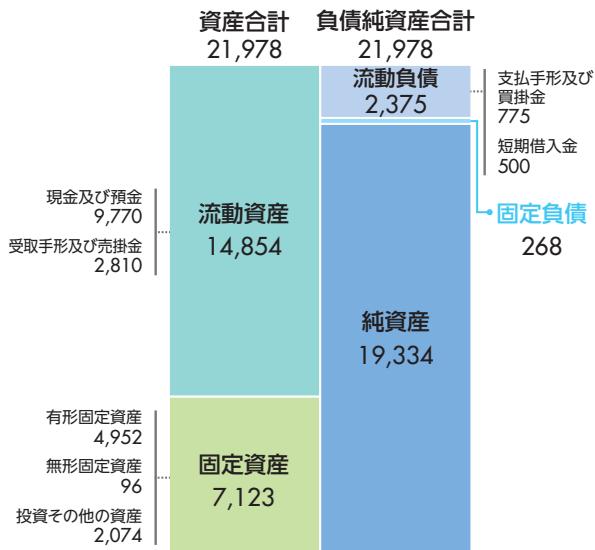
連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

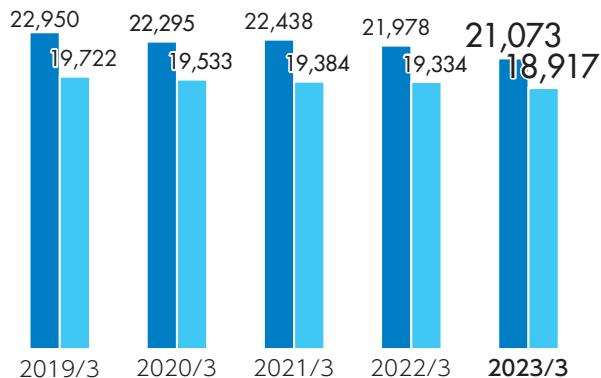
前期 (2022年3月末)

当期 (2023年3月末)



● 総資産 ● 純資産

(単位：百万円)



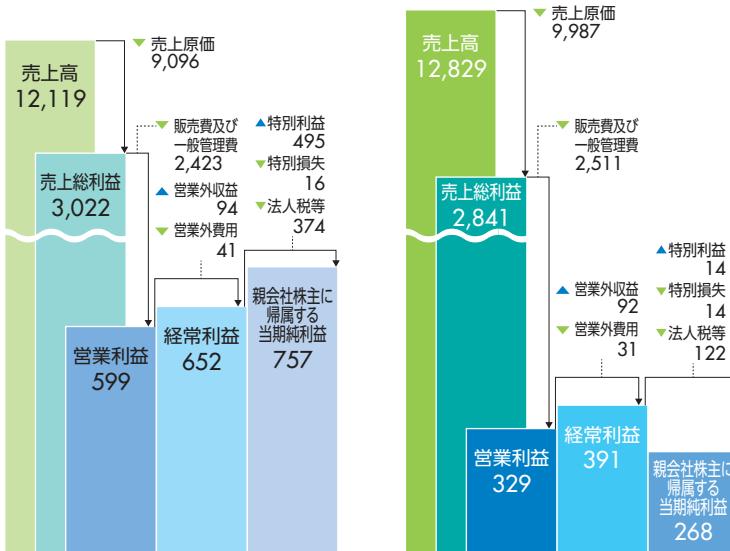
- 当期末における総資産の総額は、前期末に比べ9億4百万円減少し、210億73百万円となりました。
- 流動資産は、商品及び製品が4億47百万円、受取手形及び売掛金が1億30百万円増加した一方、現金及び預金が16億80百万円減少したこと等により9億44百万円減少し、139億10百万円となりました。
- 固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が34百万円減少した一方、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が86百万円増加したこと等により39百万円増加し、71億63百万円となりました。
- 流動負債は、支払手形及び買掛金が3億23百万円増加した一方、短期借入金が5億円、未払法人税等が3億70百万円減少したこと等により5億43百万円減少し、18億31百万円となりました。
- 固定負債は、繰延税金負債が49百万円増加したこと等により56百万円増加し、3億25百万円となりました。
- 純資産は、自己株式取得を実施した一方で自己株式消却を実施したことから自己株式が11億4百万円増加したほか、その他有価証券評価差額金が78百万円増加した一方、利益剰余金が15億91百万円減少したことにより4億17百万円減少し、189億17百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.8%となりました。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

前期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

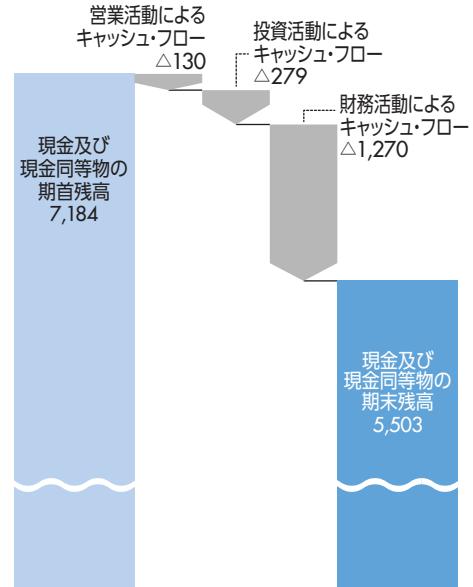
当期 (2022年4月1日～2023年3月31日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

当期 (2022年4月1日～2023年3月31日)



- 連結売上高は、機能食品の販売は減少したものの調味料及び水産物の販売が伸長したことから、128億29百万円（前年同期比7億9百万円、5.9%増）となりました。
- 利益面は、製造コスト上昇に伴う販売価格の改定や生産性改善への取り組みを行っているものの、足元の更なる原材料価格、燃料動力費の上昇に伴い採算性が悪化したほか、販売費及び一般管理費においても積極的な事業展開を見据えた人材確保に伴う人件費の増加、コロナ禍で削減していた旅費交通費の増加、先行投資としての試験研究費の増加等の影響もあり、連結営業利益は3億29百万円（同2億69百万円、45.0%減）となりました。また、連結経常利益は、3億91百万円（同2億61百万円、40.1%減）となったほか、特別利益の投資有価証券売却益が前年同期比4億71百万円減少したことなどから親会社株主に帰属する当期純利益は2億68百万円（同4億88百万円、64.5%減）となりました。

- 当期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は55億3百万円となり、前期末に比べ16億80百万円減少しました。
- 営業活動 減少した資金は1億30百万円（前年同期比13億31百万円減）となりました。内訳としては、減価償却費4億41百万円、税金等調整前当期純利益3億91百万円、仕入債務の増加額3億23百万円等の増加要因に対し、法人税等の支払額5億50百万円、棚卸資産の増加額4億67百万円、売上債権の増加額1億30百万円等の減少要因があります。
- 投資活動 減少した資金は2億79百万円（同1億93百万円減）となりました。内訳としては、有形固定資産の取得による支出2億99百万円等の減少要因があります。
- 財務活動 減少した資金は12億70百万円（同7億79百万円減）となりました。内訳としては、短期借入金の減少額5億円、自己株式の取得による支出5億5百万円、配当金の支払額2億83百万円等の減少要因があります。



■ 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料および機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	1959年5月15日
取引銀行	静岡銀行/三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静岡・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京、静岡、大阪、九州
工場	静岡県内3工場(焼津・団地工場 大東工場 掛川工場)
連結子会社	●マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 マグロ等の水産物の加工・販売 ●UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品・化粧品通信販売

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (〒168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 782-031 [フリーダイヤル] 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所 公告の方法	電子公告 https://www.yskf.jp/ir/koukoku.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する 各種手続きの お申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合 ▶ 株主様が口座を開いている証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶ 三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル (0120) 782-031 (9:00-17:00) ホームページ https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

■ ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

<https://www.yskf.jp/>



▲トップページ

UMIウェルネス
オンラインショップ



オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

■ IRカレンダー

第1四半期			第2四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月
	■ 5月上旬 期末決算発表		■ 6月下旬 定時株主総会	■ 8月上旬 第1四半期決算発表	
		■ 5月下旬 株主優待発送			9月末日 ■ 中間配当金 受領株主確定日
		■ 6月上旬 定時株主総会招集ご通知発送			
第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■ 11月上旬 第2四半期決算発表			■ 2月上旬 第3四半期決算発表	
					3月末日 ■ 決算日、期末配当受領株主確定日

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK